

## 亜鉛めっき鋼板はなぜさびにくい？

- ◎ 鉱石という自然の安定した状態から、人間は精錬という無理に不安定な状態を作り出す操作をして鉄、亜鉛などの金属を分離しました。それで、金属はもとの安定な状態に戻ろうとし、さびて行きます。自然の中では、錆のほうが金属より安定した形なのです。
- ◎ 鉄がさびるには、酸素と水が必要で、塩分や酸などはさびるスピードを早めるものです。鉄の赤錆を防ぐには、鉄と空気（酸素と水分を含む）を遮ればよいので、そのために油を塗ったり、塗装したり、めっきしたりするのです。
- ◎ 亜鉛鉄板のさびる順序は、先ず白錆（炭酸亜鉛、酸化亜鉛）が出来、これが次第に進行して亜鉛層がなくなると、鉄が出て来て赤錆(酸化鉄、水酸化鉄)を生じて来ます。即ち亜鉛の目着量の多い程、赤錆の発生は遅くなるわけです。溶融亜鉛めっきの方が電気亜鉛めっきより厚くめっき出来ます。同じ亜鉛めっき鋼板でも、亜鉛の目着量に注意しましょう。
- ◎ 亜鉛めっき鋼板の大きな特徴は、切断面や小さなきずで鉄地が出て、亜鉛と鉄とで自然と電気めっきを行う作用をして、錆の進行をくい止める性質です。一般の塗装では、きずが出来ると、そこからどんどん赤錆が進行してしまいます。

※ ネグロスのワールドダクター、レースウェイ、ケーブルラックなど長物は溶融亜鉛鋼板で目付量の多い材料を使用しています。他社製品と比較して下さい。

管支持金具 **ハイラック®**

**ケーブルラック** パイプハンガー **ワールドダクター®**

ケーブル支持金具 **FVラック®** 照明器具取付工事用 **レースウェイ**

**<N> ネグロス電工株式会社**

その他多品種  
あります。